

(様式1)

学校番号 (小・中 001)

令和7年度 学校運営協議会自己評価表

浜松市立(東部中) 学校運営協議会長

＜本年度の目標＞

令和7年度は、令和6年度の新しい取組について見えてきた課題に対する善後策や支援方法を工夫していく。また、学校運営の基本方針が周知されるよう、学校と地域をつなぐ役割を果たしていくとともに、学校運営協議会での熟議内容等を家庭や地域と共有し、学校と地域が同じ方向を向いて取り組んでいきたい。

＜評価項目1＞ 学校運営の基本方針について熟議することができたか。

⇒ ア よくできた イ できた ウ あまりできなかった エ できなかった
(理由)

年間を通して「学校運営について」「いじめ防止等のための基本方針について」の2点についての話合いであったため、ポイントが絞られ熟議することができた。学校長自身の言葉で学年チーム担任制等について説明されたことで、説得力があり学校運営の基本方針や方向性が理解され、共有された。また、PTAと同窓会の連携により、統合60周年を祝うことができた。

＜評価項目2＞ 承認した学校運営の基本方針に沿った、教育活動の充実につながる学校支援活動などについて熟議を進めることができたか。

⇒ ア よくできた イ できた ウ あまりできなかった エ できなかった
(理由)

学校の運営方針であるキャリア教育の充実のために、キャリア講座や職場体験、面接練習会等について熟議を進め、教育効果の高まる支援・協力をすることができた。いじめ防止についても学校運営協議会で熟議することで、学校の課題を共有し、解決策を練ることができた。今年度はさらに自転車通学の状況について、確認することができた。

＜評価項目3＞ 協議会での協議結果について、十分な情報発信を行ったか。

⇒ ア 充分に行った イ 行った ウ あまり行わなかった エ 行わなかった
(理由)

学校HPや学校だよりをとおして十分な情報発信ができていたのではないかと感じる。今後も、それぞれの立場（主任児童委員として民生児童委員定例会で情報発信する等）で、協議会の熟議内容について報告ができるようにしていきたい。自転車通学の状況について、さらに地域住民との情報共有ができるよう、努力していく。

＜評価項目4＞ 今年度の評価を踏まえた来年度の目標

令和8年度は、新委員が令和7年度までの協議会での熟議内容を確認するとともに、学校の課題に対する支援方法を工夫していく。また、学校運営の基本方針等が周知されるよう、学校と地域をつなぐ役割を果たしていくとともに、学校運営協議会での熟議内容等を家庭や地域と共有し、学校と地域が同じ方向を向いて取り組んでいきたい。